

令和2年度事務事業評価シート

No.144

令和3年3月3日作成

事業番号	003667	担当課等	土木課								
事務事業名	道路維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安心の まちづくり	V 交通通信網の整備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系の整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	日常生活と密接に関係する町道の破損箇所を修繕することにより、道路利用者の安全を守る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	簡易的な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	19,865,400	14,998,992	14,700,000		
	人件費	2,198,400	2,227,200	2,149,500		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	2,198,400	2,227,200	2,149,500		
	総事業費	22,063,800	17,226,192	16,849,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	10,000,000	10,000,000	14,700,000		
	一般財源	12,063,800	7,226,192	2,149,500		
	財源合計	22,063,800	17,226,192	16,849,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
道路修繕工事		修繕費用	千円	19,865	14,998	14,700
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
修繕箇所数		道路修繕工事	箇所	122	90	80

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	安価な経費で修繕を行い、直ちに効果があらわれている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	危険箇所等を修繕することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	道路巡回パトロールを実施し、修繕が必要な箇所の把握に努めている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	道路の修繕が必要な箇所については、突発的・緊急性も高く町が状態を常に把握しておく必要がある。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	引き続き道路の修繕が必要な箇所の把握に努め、修繕を実施することにより、交通の安全性を維持する。	
令和3年度以降の方向性	道路施設の計画的な維持修繕を行うため、定期的に巡回を行い、修繕の必要な箇所を把握し、実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	道路施設の維持管理を計画的に行うことにより、施設の長寿命化を図り、安全の確保を図ること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

維持管理については、計画的かつ効率的な施工に留意する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.145

令和3年3月3日作成

事業番号	003671	担当課等	土木課									
事務事業名	道路等清掃事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	3	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	道路及び側溝に堆積した土砂等により雨水排水が路面にあふれ、通行や隣接地の生活に支障をきたすことのないよう定期的に清掃を行い、道路構造物の機能を維持し、安全性を確保するもの。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路及び側溝に堆積した土砂等の清掃を職員及び業者が実施する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	899,060	2,399,140	1,900,000	
	人件費	2,198,400	2,227,200	2,149,500	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,198,400	2,227,200	2,149,500	
	総事業費	3,097,460	4,626,340	4,049,500	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		900,000	1,900,000	
	一般財源	3,097,460	3,726,340	2,149,500	
	財源合計	3,097,460	4,626,340	4,049,500	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
清掃事業	清掃費用	千円	899	2,399	1,900
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
清掃箇所数	清掃実績	箇所	6	9	9

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路管理者として構造物の機能を維持し、安全性を確保する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	定期的に清掃を依頼することで大雨等による被害の軽減及び未然防止につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	定期的に清掃をすることで構造物の機能が維持できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	道路利用者及び隣接地の安全性を保つことができる。
令和元年度までの自己評価または改善点	過去の清掃箇所を定期的に巡回し、清掃を行っている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	清掃が必要箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	引き続き改修予定の道路及び側溝について、土砂等の堆積や清掃頻度を軽減できるような改修方法を検討する。	
令和3年度以降の方向性	引き続き清掃すべき箇所を把握し、定期的な作業は職員・委託作業員で対応する。また、大雨等の突発的な事象については、業者対応としていく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	清掃を適切に実施することで、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながることから継続とする。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

No.146

令和3年3月3日作成

事業番号	003675	担当課等	土木課								
事務事業名	道路占用掘削跡舗装復旧事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	道路占用に伴う掘削跡の本復旧について、舗装の機能を良好な状態に保つため、町が実施する。								
対象	占有者及び道路利用者								
内容	道路占用掘削跡舗装復旧工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	4,975,272	4,904,205	5,700,000		
	人件費	2,931,200	2,969,600	2,866,000		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	2,931,200	2,969,600	2,866,000		
	総事業費	7,906,472	7,873,805	8,566,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	5,000,000	5,000,000	5,500,000		
	一般財源	2,906,472	2,873,805	3,066,000		
	財源合計	7,906,472	7,873,805	8,566,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
舗装復旧箇所数		復旧箇所数	箇所	20	35	21
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
舗装復旧面積		復旧面積	m ²	536	323	300

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町道路占用等規則第12条の規定により、道路占用に伴う掘削跡の本復旧は町で行うとしている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	当事業の財源は、占用者が負担した路面復旧費を充当している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	占用者が実施した占用工事箇所の状態を確認し、本復旧工事を実施。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	事業の対象箇所である道路占用の本復旧箇所の舗装の機能や品質が保持できる。
令和元年度までの自己評価または改善点	仮復旧状況を確認しながら、本復旧を行う。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	道路は町の重要な社会インフラ施設であり、占用復旧工事といえども委託は適当ではない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	近年、占用者による本復旧としている自治体が多く、本町においても近隣市町の実績、実態を確認しながら、占用者による本復旧とすることを含め、今後の対応について検討していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	近隣市町の動向や町民・事業者(占用者)の意向などを勘案し、占用者による本復旧とすることを含め、今後の事業継続について検討すること。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.147

令和3年3月3日作成

事業番号	003690	担当課等	土木課									
事務事業名	放置車両撤去事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	9	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	町道等に放置された車両の撤去を行うもの。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路交通に支障をきたす放置車両のうち、所有者が特定できず、緊急を要する場合等において、業者に撤去処分を委託する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	0	0	40,000	
コスト 人件費	常勤職員		0	143,300	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	143,300	
総事業費	0	0	183,300		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	183,300	
	財源合計	0	0	183,300	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
撤去台数	放置車両撤去	台	0	0	1

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 本来は車両の所有者が対応するべきだが、所有者が特定できず、緊急を要する場合等は、道路管理者として実施する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 車両の撤去を行うことにより、通行の障害を排除できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 車両の撤去を行うことにより、通行の障害を排除できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 所有者が特定できず、長期にわたる可能性のある通行障害を適正に排除できる。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	撤去作業については、業者に委託する。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	本来は車両の所有者が移動させるべきだが、所有者が特定できず、道路管理者として実施せざるを得ないと判断する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	本来は車両の所有者が移動させるべきだが、所有者が特定できず、緊急を要する場合等は、道路管理者として実施せざるを得ないと判断する。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.148

令和3年3月3日作成

事業番号	003694	担当課等	土木課									
事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	15	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P98 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの 確保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	⑧ 危険箇所の把握、改良 事業の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業費の一部を負担するもの。								
対象	町民及び土地所有者								
内容	急傾斜地崩壊対策工事(法面工など)								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	6,459,264	7,996,890	8,000,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	7,192,064	8,739,290	8,716,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	5,800,000	7,100,000	7,200,000		
	その他特定財源					
	一般財源	1,392,064	1,639,290	1,516,500		
	財源合計	7,192,064	8,739,290	8,716,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
対策箇所数		急傾斜地崩壊対策	地区	1	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
対策工面積		急傾斜地崩壊対策	m ²	716	1,272	1,100

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 急傾斜地崩壊対策工事は、本来地権者が行うものであるが、多額の費用を必要とするため、地権者の負担が大きく現実的には不可能である。一定の要件を満たす場合は、県が工事実施することができ、その費用の一部について町で負担する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、災害による町民の危険を排除することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、町民の災害に対する安全性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2 事業実施箇所が、急傾斜地崩壊危険箇所指定された区域に限られる。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	県と事業について調整を行い、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	現在町内では、1箇所(宮上道中)について危険箇所指定し、区域の拡大を行いながら事業を進めているが、今後は追加で2箇所(温泉場・福浦)の危険箇所の指定について県及び地元と調整を行う。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町民の安全を守るため県と連携し、事業を継続していくこと。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.149

令和3年3月3日作成

事業番号	003698	担当課等	土木課								
事務事業名	道路改修事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備	⑦ 道路ストックの維持管理 の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	道路維持修繕事業で対応できない、大規模な舗装改修などを必要とする箇所について工事を実施し、町民や道路利用者の利便性と安全性を向上する。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	大規模な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	18,126,636	27,236,982	30,317,000		
	人件費	2,931,200	2,969,600	2,866,000		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	2,931,200	2,969,600	2,866,000		
	総事業費	21,057,836	30,206,582	33,183,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	5,000,000	4,000,000	4,000,000		
	一般財源	16,057,836	26,206,582	29,183,000		
	財源合計	21,057,836	30,206,582	33,183,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
工事箇所数		道路工事	箇所	10	7	11

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	道路の状態により危険性の高いものから順次改修を行った。
--------------------	-----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	改修が必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。
令和3年度以降の方向性	道路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工事を行っていく。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き事業を実施し、安全の確保を図ること。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> ・国庫支出金を有効に活用できるように、道路計画の整備を図る。 ・道路施設の維持管理について、効率よく効果的な施工を行うことで長寿命化を図る。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.150

令和3年3月3日作成

事業番号	003709	担当課等	土木課								
事務事業名	道路新設改良事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備	③⑦ 道路の新設・改良 道路ストックの維持管理 の推進				
関連する個別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町橋りょう長寿命化修繕計画 ・湯河原町トンネル長寿命化修繕計画 ・湯河原町耐震改修促進計画 ・湯河原町舗装維持管理計画 								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化や耐震化を図る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路新設改良事業、橋梁・トンネルほか補修及び耐震事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	146,726,423	58,402,104	68,214,000	
コスト 人件費	常勤職員	2,931,200	2,969,600	2,866,000	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,931,200	2,969,600	2,866,000	
総事業費	149,657,623	61,371,704	71,080,000		
財源 内訳	国庫支出金	48,453,000	14,999,000	26,840,000	
	県支出金	0	14,903,000		
	地方債	17,800,000	3,600,000	4,400,000	
	その他特定財源	33,546,200	3,340,000	2,031,000	
	一般財源	49,858,423	24,529,704	37,809,000	
	財源合計	149,657,623	61,371,704	71,080,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
工事箇所数	道路改良事業	箇所	8	6	5
委託箇所数		箇所	5	5	7

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路施設は、公共性が高く、交通網の充実や安全性確保のため町が実施するもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	道路整備により、道路利用者の利便性・安全性が向上し、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	国補助金(社会資本整備総合交付金)減により、事業を縮小しなければならない場合がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	各計画に基づき、順次改修を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	改修必要箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	点検・調査に基づき、計画を策定・修正を行いながら改修を実施する。	
令和3年度以降の方向性	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化を各計画に基づき実施する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	安全の確保の観点からも、計画的に道路ストックの新設や改良を引き続き行っていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

国庫支出金を有効に活用し、計画的に実施する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.151

令和3年3月3日作成

事業番号	003729	担当課等	土木課									
事務事業名	鍛冶屋ガード拡幅事業(平成30年度まで)(令和元年度～)鍛冶屋ガード安全対策事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	02	事業開始年度	平成	27	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P116 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	V 交通通信網の整 備	1 道路整備	(1) 道路・交通体系 の整備	② JRガードの拡幅				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	当該ガードは幅員が狭く、車両の相互通行が困難で路肩もなく、歩行者の安全性が保てないため、ガードの拡幅を行い、道路利用者の安全確保を図る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	ガード拡幅工事(車道2車線+歩道設置)を検討したが、拡幅工事は、難しい結果となったため、歩行者の安全対策を実施した。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	47,702	1,456,200	0	
コスト 人件費	常勤職員	2,931,200	2,969,600		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,931,200	2,969,600		
総事業費	2,978,902	4,425,800	0		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		1,034,000		
	一般財源	2,978,902	3,391,800	0	
	財源合計	2,978,902	4,425,800	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
説明会開催数	住民周知	回	1		
安全対策工事費		千円		1447	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
説明会参加者数		人	18		
工事箇所数		箇所		1	0

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町道上の公共構造物であるため、整備にあたっては町が実施すべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 概略設計を委託し、拡幅事業を進めていくために必要な工法比較検討が完了し、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 工法比較検討の結果から事業内容を見直す必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2 受益を受ける人や地域が限定される。
令和元年度までの自己評価または改善点	平成28年度に実施した工法比較検討結果と住民アンケート調査結果について報告会を実施し、今後の進め方について、地元住民との協議し、歩行者の安全対策については実施することとした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 安全対策工事を実施し、完了した。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	歩行者等の安全対策として、看板設置を行った。
令和3年度以降の方向性	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	拡幅工事が困難との結果となったため、歩行者の安全対策を実施した。
------	----	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和2年度事務事業評価シート

No.152

令和3年3月3日作成

事業番号	003752	担当課等	土木課									
事務事業名	水路等清掃事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	03	目	01	事業開始年度	平成	3	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P99 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの 確保	2 治山・治水	(2) 治水事業の推進	② 河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○			○				
目的	堆積した土砂等による水路機能の低下で排水があふれ出たり、水流が滞ることによる異臭が発生など、隣接地の生活に支障をきたすことのないよう定期的に清掃を行い、水路構造物の機能を維持し、安全性を確保するもの。								
対象	水路沿線の町民								
内容	水路に堆積した土砂等の清掃を業者に委託し、実施する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	289,700	299,450	800,000	
コスト 人件費	常勤職員	1,465,600	1,484,800	1,433,000	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,465,600	1,484,800	1,433,000	
総事業費	1,755,300	1,784,250	2,233,000		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		300,000	300,000	
	一般財源	1,755,300	1,484,250	1,933,000	
	財源合計	1,755,300	1,784,250	2,233,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
清掃箇所数	清掃実績	件	3	4	6

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水路管理者として構造物の機能を維持する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	定期的に清掃を行うことで異臭の発生、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	定期的に清掃を行うことで構造物の機能が維持できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	水路沿線の町民の安全性を保つことができる。
令和元年度までの自己評価または改善点	町内を巡回し、清掃すべき箇所の把握と清掃時期・頻度を確認し、適正な実施に努めている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	水路清掃必要箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	引き続き改修予定の水路について、土砂等の堆積や清掃頻度を軽減する改修内容を検討する。	
令和3年度以降の方向性	引き続き町内巡回の頻度を増やし、清掃すべき箇所の把握と清掃時期・頻度を検討する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	清掃事業を適切に実施することで、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながることから引き続き継続して行っていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

No.153

令和3年3月3日作成

事業番号	003748	担当課等	土木課								
事務事業名	河川維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	03	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P99 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの 確保	2 治山・治水	(2) 治水事業の推進	② 河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○			○				
目的	日常生活と密接に関係する水路等の老朽箇所を修繕することにより、町民や土地所有者の水害に対する安全を守る。								
対象	町民及び土地所有者								
内容	簡易的な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	5,496,040	4,993,738	5,000,000	
	人件費	1,465,600	1,484,800	1,433,000	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,465,600	1,484,800	1,433,000	
	総事業費	6,961,640	6,478,538	6,433,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	3,000,000	2,860,000	2,000,000	
	一般財源	3,961,640	3,618,538	4,433,000	
	財源合計	6,961,640	6,478,538	6,433,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
修繕箇所数	水路修繕工事	箇所	30	31	22

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水路等は、町の施設であり、維持管理を怠ると水害により町民生活を脅かす危険性がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	安価な経費で修繕を行い、直ちに効果があらわれている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	危険箇所等を修繕することにより、水害に対する安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	修繕箇所は、町内全域を対象としているが、老朽化している施設が中心となるため、多少偏る傾向がある。
令和元年度までの自己評価または改善点	水路の状況調査、巡回パトロールを行い、水路等修繕必要箇所の把握に努めている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 水路等の修繕が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	水路等施設の計画的な維持修繕を行うため、定期的に点検を行い、修繕が必要な箇所を把握し、実施していく。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	水路等は、町施設であり、水害防止に努めるとともに、施設の長寿命化及び安全性の向上を図る観点から現状維持で継続していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

No.

令和3年3月3日作成

事業番号	003748	担当課等	土木課								
事務事業名	河川改修事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	03	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P99 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの 確保	2 治山・治水	(2) 治水事業の推進	② 河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○			○				
目的	河川維持修繕事業で対応できない、大規模な修繕を必要とする箇所について改修工事を実施し、町民や土地所有者を水害から守る。								
対象	町民及び土地所有者								
内容	大規模な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	2,862,000	0	11,000,000	
コスト 人件費	常勤職員	1,465,600	0	716,500	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,465,600	0	716,500	
総事業費	4,327,600	0	11,716,500		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	4,327,600	0	11,716,500	
	財源合計	4,327,600	0	11,716,500	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
河川改修工事費		千円	2,862	0	11,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
工事箇所数	水路工事	箇所	1	0	1

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 水路等は、町の施設であり、維持管理を怠ると水害により町民生活を脅かす危険性がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 危険箇所等を改修することにより、水害を防止し安全性の向上が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 危険箇所等を改修することにより、水害を防止し安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 改修箇所は、町内全域を対象としているが、危険性の高い水路を優先するため、多少偏る傾向がある。
令和元年度までの自己評価または改善点	危険性の高い水路の改修した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 水路等の改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	改修が必要な箇所を調査し、計画的な改修予定を検討する。
令和3年度以降の方向性	水路等施設の計画的な維持修繕を行うため、定期的に点検を行い、修繕が必要な箇所を把握し、実施していく。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持) 水路等は、町施設であり、水害防止など常に良好な状態を保つ必要があるため、現状維持で継続していくこと。
------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

No.154

令和3年3月3日作成

事業番号	006627	担当課等	土木課								
事務事業名	公共土木施設災害復旧事業										
予算科目コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画									
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	災害で被害を受けた公共土木施設を復旧する。								
対象	公共土木施設(道路・水路等)								
内容	災害により道路等の公共土木施設の機能に支障が出た場合に業者に復旧工事を発注する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	0	33,056,785	102,337,640	
コスト 人件費	常勤職員	0	2,969,600		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	2,969,600		
総事業費	0	36,026,385	109,502,640		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		28,400,000	65,000,000	
	その他特定財源				
	一般財源	0	7,626,385	44,502,640	
	財源合計	0	36,026,385	109,502,640	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
災害復旧工事		件	0	3	3
災害復旧委託		件	0	22	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
災害復旧費		千円	0	33,056	102,337

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	災害で被害を受けた公共土木施設を復旧するために必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	災害で被害を受けた公共土木施設の機能を復旧することにより、構造物の機能が回復し、安全性を確保できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	災害で被害を受けた公共土木施設の機能を復旧することにより、構造物の機能が回復し、安全性を確保できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内全ての公共土木施設が対象であり、それらを利用する人々の安全・安心を確保することができる。
令和元年度までの自己評価または改善点	特になし		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 災害で被害を受けた施設について、構造物の機能を回復し、安全性を確保するため引き続き実施していく。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	町内2箇所の災害復旧工事を実施した。
令和3年度以降の方向性	災害により公共土木施設に被害が出た場合には、業者に依頼し、速やかに復旧する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	災害復旧事業を適切に実施することで、災害による被害の軽減に繋がることから、災害発生時には、速やかに復旧事業を実施すること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------